



2.32 PDA 東京都立日比谷高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年10月21日(月) 15:40-18:00

会場：東京都立日比谷高校

参加者：生徒 42名、教員 6名

ジャッジ：PDA スタッフ、早稲田大学、立教大学、一橋大学、東京農工大

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

日比谷高校での即興型英語ディベート体験会も6年目に入りました。例年意欲的な希望者が多く今回も始まる前から会場の会議室は熱気がありました。

まずは英語科の笹生先生より「即興型英語ディベートを体験し良い学びを得てください」とのご挨拶をいただきました。

その後 PDA スタッフより即興型英語ディベートの説明を行いました。今回は昨年の体験者と初体験の1年生がいたため、ルール説明は要点を中心にし、モデルディベートを見て流れを把握した後、フローシートの重要性およびその書き方を学びました。

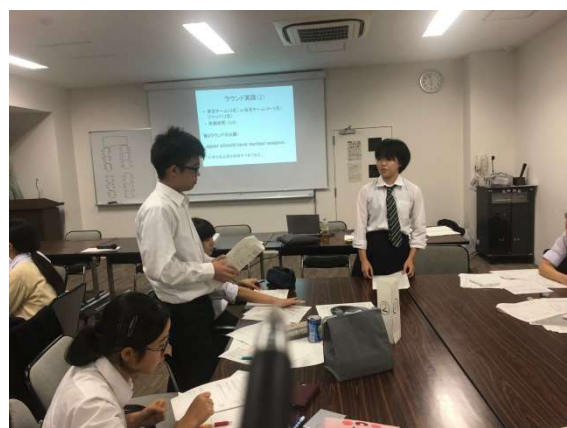
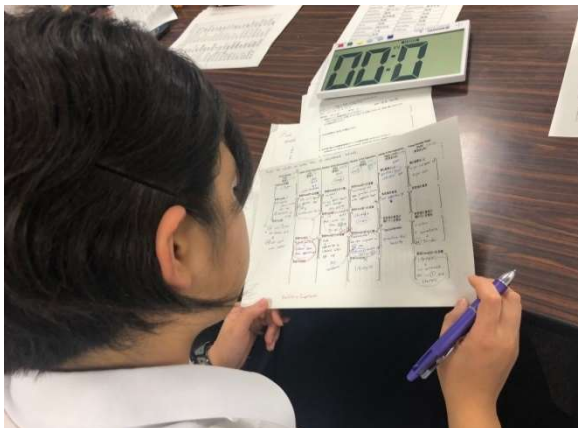
その後早速ディベート実践です。

英語を話すことに比較的慣れている生徒も少なくない中で、1ラウンド目の実践をしましたが、スピーチの組み立てに苦戦している生徒も多く、スピーチ中に「無理！」と日本語で発してしまう事もありました。なんとかスピーチを終えた後はジャッジのリフレクションを真剣に聞いていました。

続く2ラウンド目では、1ラウンド目のジャッジからのアドバイスをスピーチに活かし、前のラウンドに比べほとんどの生徒の構成力が向上しました。

今回は1ラウンド目から生徒の皆さんにもジャッジ体験をしてもらいました。ジャッジの際は不安な面持ちではありましたが真剣にスピーチを聞いている姿が印象的でした。

実践後、今回は特にジャッジ経験をした生徒から「ジャッジをすることでスピーチに必要な要素を見いだすことが出来て勉強になった」といった意見や、「とにかくやってみてよかった」などの前向きな感想が多く聞かれました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・最初はめんどくさいと思っていたけど実際にやってみると楽しくて驚いた。「即興型」だったので学べるが多かった。
- ・自分の英語力のなさを痛感したので、受験勉強が一段落したら参加したいと思う。
- ・1回目は時間の半分ほどで準備していた内容を話し終えてしまって、英語で話す難しさを痛感した。2回目では1回目と比べものにならないくらいグループ内で強い論が構築できてとても楽しかった。
- ・ディベートと言う形で、いつも学習している英語を実践的に使う機会を得られてよかった。また、論の組み立て方についてジャッジの方からたくさんアドバイスをいただき、大変参考になった。
- ・最初はとても緊張したが、ジャッジや先生からのコメント等がとてもためになり、1ラウンドから2ラウンドで良い改善できたのを感じた。授業でのディベートでも活かしたいし、来年もこのような機会があればぜひ参加して、さらに力を伸ばしたい。
- ・ディベート自体はやったことはあったが、即興型は初めてで新鮮な感じがしたし、その難しさもよくわかったのでよかった。
- ・授業内でもディベートをしてはいるけど、授業内のものよりもテーマの内容的にも、主張の内容的にも密度が濃く、とても楽しかったです。
- ・「不安、緊張」と書きましたが、大変貴重な体験をしているというドキドキ感にも溢れていました。自分の考えをまとめ、即興で相手の反応に応える難しさには心折られそうですが、先生が指摘してくださった点を改善し、より自分の心の中のを英語という言葉でうまく表せるようになりたいです。

